



2025年度 保護者向け就職セミナー

第2部 就職活動において学生は具体的に 何をすれば良いのか？

～保護者と乗り切る就職活動～

キャリア開発課長 中嶋浩貴

【本日の流れ】

1. 学年別 やるべきこと
2. キャリア開発課が注力していること
3. 保護者の「過保護」と「過干渉」
4. 民間企業の就活に有利な資格
5. 事前質問に対する回答（一部）

1. 学年別やるべきこと①

本格的なスタート(準備)は2年生10月(学内ガイダンス)から

< 2 年生 >

- ・ **80マス 企業名**で埋めますワークをやる。
⇒大学2年生でも中学2年生でもおそらく15社程度
⇒企業名を知らずして、どうやって就活やる？
- ・ マイナビ、リクナビ、キャリアス、学情
各種サイトに会員登録をする。



3

1. 学年別やるべきこと②

3年生はとにかく企業との接点をどれだけ増やせるか？が勝負

< 3 年生 >

- ・ **80マス**にある企業を**全てエントリー**する
⇒エントリーによって夏の**インターンシップ**の案内が来る。
⇒絶対にインターンシップに行くべき！
⇒インターンシップは**複数企業**に行くのが望ましい。
- ・ 9月以降は企業の個別説明会、合同企業説明会、学内で実施するキャリアサロンに積極的に参加し、**企業慣れ**をする。

4

1. 学年別やるべきこと③

企業選びのポイント 自分にとって何を優先させるか？

- ・ 最初のポイントは、どこでどう働くか？
 - ⇒ 愛知県で働く？地元の都道府県に戻る？
 - ⇒ 転勤が前提の企業に行く？海外転勤前提で働く？
 - ⇒ 転勤なし、テレワークOK等々の企業を目指す？
- ・ 次の優先事項は各自で大きく違う
 - ⇒ 業種？給与？企業規模？ホワイト企業認定？
 - ⇒ 福利厚生（例えば寮があるか？）が充実した企業？
 - ⇒ 育児休暇の取得率？

1. 学年別やるべきこと④

3年生3月になれば、大手企業を中心に本選考エントリー開始

- ・ エントリー済の企業に本選考エントリーをして、実際の入社試験に臨む。
 - ⇒ 就職協定により **3年生3月1日**から本選考エントリーが可能となる。ただし、就職協定を順守していない企業は、その前から選考が始まる場合もある。
- ・ 最初に内定を得た企業に**約6割**の学生が入社してしまう。
 - ⇒ 第一希望群の企業であれば良いが、そうでなければ安易な入社確定は避けるべし！！内定を保持したまま納得が行くまで就職活動を継続すべし！！

1. 学年別やるべきこと⑤

3年生はエントリーシートの鉄板型を身に付けるべし！！

- ①私は御社に入社して、〇〇をしたい
⇒**企業分析**ができているか？
 - ②私には、その〇〇に活かせる強みがある。
⇒**自己分析**ができているか？
 - ③その強みは、△△を通して身に付けてきた。
⇒**具体的なエピソード**を示すことでウソではないことを証明することになる。
 - ④だから私を採用してくれ！
⇒入社への**熱意**を示す。
- ⇒全てを**具体的**に話すことで聞き手の右脳に伝達すべし！

7

1. 学年別やるべきこと⑥

エントリーシートは企業へのラブレター！恋愛と同じである！

- ①（和男）私はあなたが好きだ。付き合ってほしい！
（明美）私のどこが好きなの？（真偽を確認）
 - ②（和男）私は、あなたが困っている人を助けている場面を見た。その優しさに惹かれた。（証明）
（明美）私の事を見ててくれていたんだね（真実を確認）
 - ③（和男）だから僕の彼女になってほしい。（熱意）
（明美）ウソもつかないし、熱意もあるからOK（採用）
- ⇒相手（企業）に対して「**なぜ入社したいのか？**」を論理的に説明して、熱意も見せれば内定獲得の可能性は飛躍的に高まる！

8

1. 学年別やるべきこと⑦

4年生になって内定が取れていなくても焦る必要は無い！！

- ・ 大企業（2000名以上） 求人倍率 **0.1倍**
 中小企業（300名以下） 求人倍率 **10倍**
 ⇒「超売り手市場」の現代では求人は尽きることがない。
 ⇒中小企業でも待遇面が素晴らしい企業は豊富。
 ⇒諦めて安易に内定が取れる企業に流れるのは禁止！！
- ・ 7月に「ReSTARTガイダンス」を実施し、提携する就職エージェントによる求人紹介、積極的な支援を開始する。

2. キャリア開発課が注力していること

学生が欲しい情報を適切な時期に適切な方法で提供する

- ・ キャリア開発課 公式**LINE**開設
 ⇒学生との情報距離を最短にする。
 ⇒メール、web掲示板に流すだけではダメ！！
- ・ **学生との対話**を重視するため、アナログ手法でコミュニケーションを取る。
 ⇒進路未決定者に対して一斉の電話がけを行いフォローを実施。
 ⇒ヒアリングを通じて、適切な解決法をこちらから提案。

ラインを登録したら
まずはここから！

簡単なアンケートに お答えください

在學生は必ずご確認ください

届けます。 便利な情報

こちらからお答えください ▶

スキルUPで イイ感じ	これが結構 ためになる	面談も お気軽に	各種予約や 色々と求人
イベント情報		面談・イベント予約・求人検索	
進路の状況 教えてね	内定とか 辞退とか	ここから キリッ	疑問があれば
進路報告		お問い合わせ	

📄 チェック ▶



2. キャリア開発課が注力していること

學生が知らない優良企業を発掘し、受験の選択肢に入れてもらう。

例えば、

・メーカー（特に素材系）企業の発掘・紹介

- ⇒車のディーラーに就職する學生が多いのが現状である。
- ⇒彼らの大半はディーラーに入社したかったのではなく、他の企業をあまり知らなかった場合が多い。
- ⇒車は約3万点の部品があり、膨大な数の企業が関係している。
- ⇒しかしながら、その企業名を知る學生は大変少ない。
- ⇒メーカーは福利厚生が充実、給与も高いケースが多い。
- ⇒メーカーは裾野が広いため、将来的な転職の選択肢が多い。
- ⇒また、大手メーカーはステップアップ転職できる可能性がある。

⇒上記の背景からメーカーの優良企業を學生との面談時に紹介している。

2. キャリア開発課が注力していること

「なぜ、この企業なのか？」を説明できるようなワークを実施

<質問>

あなたの好きなコンビニを教えてください

ローソン？ファミリーマート？セブンイレブン？

⇒自分で選んだからには何か理由があるはず。

⇒自分自身の思考から来る理由なので、回答できるはず。

⇒しかしながら、企業の面接で「なぜ弊社を選びましたか？」
の質問になぜ自信を持って回答できないのか？

⇒それは、しっかりと企業を把握していないだけである。

⇒そのため、キャリア開発課ではガイダンス時に上記の
「コンビニワーク」を取り入れて、「なぜ？」に回答できる
人材に育てていく。

3. 保護者の「過保護」と「過干渉」

就職活動は家族のサポート有無で結果が変わる

・子供には「**過保護**」をお願いします。

⇒過保護は「〇〇したい」「〇〇になりたい」という
子供の意志表明がスタートです。

⇒つまり、**子供自身**が能動的姿勢であるため、行動に
移るモチベーションが高い状態です。

⇒その前向きで意欲的な姿勢を親の考えを押し付ける
ことなく応援することが就活時に必要な「**過保護**」です。

⇒甘やかす過保護ではなく、**応援するという過保護**です。

3. 保護者の「過保護」と「過干渉」

就職活動は家族のサポート有無で結果が変わる

・ 子供に「過干渉」はダメ（禁止）です。

⇒ 過干渉は保護者が「子供には〇〇をやってほしい」「子供には〇〇みたいな会社に入ってほしい」という保護者の意志表明がスタートです。

⇒ つまり、保護者の思いを子供自身に押し付けているだけであるため、子供が受動的になってしまいます。

⇒ 自分自身で決断していないことに意欲は上がりず面接時の熱意・意欲に現れる可能性があります。

⇒ 子供の将来に対する不安はありますが、子供の気持ちを一番に大切にすることが成功への近道です。

15

4. 民間企業の就活に有利な資格

エントリーシート上で客観的な差をつけられるのは資格である。

① ITパスポート

ITに関する基礎知識を証明する経済産業省認定 国家資格

推奨理由

民間企業で使える国家資格を有する学生は非常に少なく、IT人材が不足する現代では非常に重宝される。

勉強時間目安

100～150時間
1日2時間程度の勉強で約2か月

合格率

約50%

16

4. 民間企業の就活に有利な資格

エントリーシート上で客観的な差をつけられるのは資格である。

②簿記3級（2級は神人材）

日本商工会議所および各商工会議所が認定する**公的資格**

推奨理由 大学卒業者は基本的に「総合職」で採用であり、ビジネス（お金）の流れを理解している、もしくは興味がある学生は非常に少なく幹部候補として重宝される。

勉強時間目安 100～150時間
1日2時間程度の勉強で約2か月

合格率 30～40%

17

5. 事前質問に対する回答（抜粋版）

質問1：看護系の就職制度について知りたい

- ⇒ 基本的な流れとしては民間企業と**同じ**である。
- ⇒ 違うのは、**専願制**であり受験中の病院がある場合は、他の病院を同時に受験することができない。（看護学部ルール）
- ⇒ 看護に限らず医療業界はそれが**暗黙のルール**となっている。
- ⇒ また、内定を取った場合は、基本的に辞退することは**不可**である。
- ⇒ 辞退する場合、次年度以降の**実習受入**に影響を及ぼす可能性があり後輩達の実習が成立しないリスクがある。（**大学側が謝罪に行く**）
- ⇒ 就職を前提とした病院からの奨学金を受給している学生でも稀に不合格となる場合がある。**内定は保証されていない**。
- ⇒ **専門領域の教員**と緊密なコミュニケーションを取りながら、受験する病院を決めていくことが大前提である。

18

5. 事前質問に対する回答（抜粋版）

質問2：Uターン就職について知りたい

- ⇒本学では、長野県、静岡県、三重県、岐阜県、石川県、富山県、福井県、鳥取県、長野県と**就職協定**を締結している。
- ⇒キャリア開発課でもサポートは可能であるが、より詳細な求人やサポートについては**各県庁の雇用対策室等**の部署が担っている。各県にはUターン就職を支援する部署があり、そこから各県に所在する**人材会社に業務委託**がされている。
- ⇒就職協定を締結していない自治体でも必ずUターン就職に関する部署があり、積極的な支援を行ってくれる。
- ⇒各自治体は人材不足によりUターン就職支援に以前よりも非常に積極的に取り組んでおり、手厚い支援が得られる。
- ⇒「**〇〇県 Uターン就職**」と検索してみるのが第一歩である。

5. 事前質問に対する回答（抜粋版）

質問3：障がいを持つ学生の就職支援について

- ⇒2026年7月から障がい者の法定雇用率が**2.7%**まで引き上げられる。
- ⇒上場企業等を中心に障がいを持つ学生の**採用意欲は非常に高い**。
2025年3月卒業者の主な就職先一覧

「トヨタ紡織」「デンソーテクノ」「日本通運」「ヤマハ発動機」
「フジミインコーポレーテッド」「日本車両製造」等々

- ⇒学生支援センターとキャリア開発課に**必ず相談**に来てください。
- ⇒意欲的に情報を取りに来ることで大きく結果が変わります。
- ⇒相談に来ない場合が多いので、とにかく来てください！

< 参考資料 > 各学部の特徴

2025年3月卒業生

21

< 社会福祉学部 > 卒業生320名

- ・ 実就職率が**94.9% (303名)** であり、過去4年間で最高値
- ・ 民間企業への就職は**32.1% (103名)**
- ・ 社会福祉法人への就職は**30.0% (96名)**
- ・ 社会福祉協議会への就職は**6.5% (21名)**
- ・ 医療（MSW等）への就職は**10.3% (33名)**
- ・ 公務員への就職は、**5.3%(17名)** 内 福祉職は12名

22

<経済学部> 卒業生187名

- ・実就職率が**90.8%（167名）**であり、過去4年間で**最低値** 2023年度より**6.6%**低下

⇒大変な**危機感**を持ちキャリアサロンを**徹底強化**
 ⇒新カリキュラム（現1年生）は全員履修科目としてキャリアサロンへの参加を**必須化**した。

- ・上場企業への就職は**14.0%（26名）**
- ・**地元優良企業**（特に従業員300名以下のメーカー）をキャリア開発課と一緒に開拓

<健康科学部> 卒業生163名

リハビリテーション学科 98名
 福祉工学科 65名

- ・就職希望者に対する就職率が**12年連続100%達成**
 ⇒各ゼミ教員の徹底した**個別指導**が要因

- ・企業側の採用意欲が学部で一番旺盛である。
- ・特に福祉工学科（工学部）

- ・今後は企業の理系人材採用意欲を活用して、**大企業**（例：トヨタ自動車）との関係構築に注力中。

＜教育・心理学部＞卒業生245名

こども発達学科 保育・幼児教育専修 67名

⇒公立の保育園・幼稚園に14名入職（22.2％）

⇒前年と比して10％向上している。

こども発達学科 学校教育専修 73名

⇒50名（68.4％）が教員として就職

⇒そのうち、正規採用は15名（30％）に留まる。

心理臨床学科 105名

・民間企業への就職者は72名（68.5％）

⇒全て正規採用である。

・医療・福祉系への就職者10名（9.5％）

⇒毎年、同水準である。

・毎年、10名程度が大学院進学準備、専門学校進学、公務員浪人、療養等々で就職しない。

⇒学科としては、学部事務室、学生課と連携して学生のケアに注力している。

<国際学部> 卒業生53名

流通・サービス系で約50%を占める。
⇒DPと就職先の関連性が対外的に見て薄い

愛知県教育委員会 2名、私立高等学校 1名が
英語教師として就職。ただし、講師採用。

国際協力機構（JICA）には2名が登録

留学生20名の内、19名が無事に就職。
⇒1名は特定活動ビザで継続して就職活動

<看護学部> 卒業生102名

就職希望者に対する就職率は100%
⇒専門学校等への進学が2名

1年次から毎年、全員参加必須型のキャリア
ガイダンスを学部で独自実施

3年次8月には主要な病院を招いて就職相談会を
実施。その際、卒業生も招いて交流会実施

1学生1病院という専願制を採用。内定が出たら
必ずそこへ就職する方針であり、病院側からの
信頼は厚く、強固な関係を継続している。

<スポーツ科学部> 卒業生145名

実就職率が**97.3%**であり、全学部**トップ**

⇒2023年度はスポーツ系学部で**全国1位**となった。

⇒2024年度は発表待ち

企業就職が118名（81.3%）

学校教諭は16名（11.0%） ←昨年度から半減

<強さの理由>

- ・キャリア開発課と連携し、2年次に**全員面談**を実施
- ・同時にゼミ教員による熱心な指導がある。
- ・学部教員がキャリアに対して強い熱意がある。